

デジタル田園都市国家構想都市国家構想基本方針（骨子案）に関する意見

大野市長 石山 志保

- 地方において、人口減少・少子高齢化が進んだことに伴い、担い手や働き手の不足に直面しています。
業務再構築・効率化を図るとともに、働き手や担い手の不足を補うために、「デジタルの力を活用した地域の課題解決」で示されたように、ツールとしてのデジタルを地域課題の解決に役立てていく視点が大切と考えます。
人口減少・少子高齢化への対策として、従来からの地方創生施策についても推進していく必要があります。

- 「デジタル人材の確保・育成」について、地方の商工業者や農林業者は、人材、予算、地形などの面で制約が多く、寄り添ったデジタルの利用方法や導入支援が必要です。
「デジタル人材地域環流戦略パッケージ」が、デジタル人材・専門家や課題解決のためのコーディネーターが地方とつながる内容、もしくは地域にいる人材が育てられる内容となることを望みます。
みんなでデジタル化に挑戦する機運を作り上げるため、「デジ田甲子園」や「デジ活中山間地域」などにつきまして、地方の挑戦意欲を高める企画を取り入れていただけますようお願い致します。